

普及活動情勢報告（令和5年3月分）

中央東農業振興センター 嶺北農業改良普及所

集落・農地を連携して守る ～「松ヶ丘地区の連携を考える会(仮称)」開催～



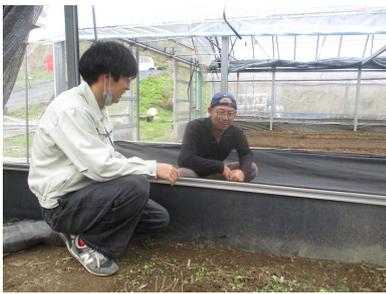
連携の必要性を説明する
普及指導員

3月7日、普及所は土佐町と連携し、松ヶ丘コミュニティーセンターにおいて同地区内の集落営農3組織、集落活動センター、ドローン防除組織の役員、関係機関ら計21名による組織間連携の第1回連携会を開催しました。

普及所は、事前に行ったアンケート結果を基に農地保全・機械・オペレータ・協業等に関する地域や組織の課題、連携意向を紹介し、今後の連携の実践を進言しました。参加者からは「オペレータの相互補完について検討を深めたい」「農地保全活動は統合化・広域化・法人化を視野に入れたい」等の意見が出され、今後は集落活動センター運営委員会において農業に係る地域活動の計画作成と実行を進めていくことが合意されました。

普及所は、同運営委員会に参画し、組織間連携の計画作成と実行を支援していきます。

高収量を目指して ～ミニトマト栽培開始～



かん水指導を行う普及職員

大豊町のミニトマトの育苗が3月から始まりました。普及所は、生産者に対し、かん水方法などの巡回指導を行っています。また、3月9日に開催された作付検討会では、2月に部会で行った視察の結果報告と、次作の着果制限試験の計画を説明しました。

巡回では、新たな取り組みに対する関心が高く、着果制限の方法について様々な質問が出されました。

普及所は今後も生産者の所得向上に向けて、技術の検討や栽培管理指導を実施していきます。

今年の普及指導活動を報告しました ～令和4年度第2回嶺北地区農業改良普及推進協議会～



様々な意見が出されました

3月10日に、嶺北農業改良普及所会議室で、令和4年度第2回嶺北地区農業改良普及推進協議会を開催し、農家代表委員5人、関係機関6人が参加しました。

協議会では、「普及指導活動実績書」等により本年度の活動成果を報告し、あわせて令和5年度の普及指導計画の骨子について説明しました。続いて意見交換を行い、委員から「いかに農業で食べていけるようにするか」「新規就農者のサポートハウスの整備が必要」「ユズでは10年先を見越して対応を」等多数の意見が出されました。

普及所では、協議会でいただいたご意見をふまえ、地域の農業・農村振興に取り組んでいきます。

良質なユズ生産に向けて樹形を整えよう ～剪定講習会を開催～



剪定実演中
「ユズがたくさんとれる樹に
したいね!」と生産者

3月20日に、JA高知県れいほく園芸部ゆず部会、無農薬柚子部会が大豊町と土佐町において剪定講習会を開催し、計19名が参加しました。普及所からは剪定の目的や手順等を説明し、果樹担当専門技術員の協力を得て剪定の実演と栽培管理にかかる情報提供を行いました。生産者からは「徒長枝の整理はどうすればよいか」「実がなる枝の見分け方は?」など活発に質問があがり、「剪定の基本的な考え方と進め方が理解できた」「樹勢や園地条件に応じた剪定の必要性がわかった」という声が聞かれました。

近年、管内では新植する生産者が多く、普及所は今後も生産者が順調に成木まで管理できるよう、JA、部会役員と協力して指導していきます。